

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード	名 称		コード	名 称
事業名	689	伊賀米生産振興経費	会計	01	一般会計
基本施策	43	伊賀ブランドの価値を高め、売り出す	款	06	農林業費
			項	01	農業費
			目	03	農業振興費
担当部課名	青山支所産業建設課		細目	107	伊賀米等生産振興対策事業
作成者氏名	山内 敏	連絡先	細々目	01	伊賀米生産振興経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	伊賀南部農業協同組合	成果(どうなるのか)	伊賀南部カントリーエレベーターを利用することにより、出荷米の品質が均等化され、伊賀米としてのブランド価値が向上することにより、農業収益の改善が図れる。
	本年度事業内容	伊賀南部農業協同組合に対する良質米出荷利用向上補助金交付。(平成14年度伊賀南部農業協同組合が回収したカントリーエレベーターのリース補助)		
開始年度	平成	年度	終了年度	平成 年度
根拠法令・要綱等			伊賀市補助金等交付規則	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	
	人件費合計(A)	720	720	0
②支出内訳(千円)	事業費(B)	968	968	0
	委託料			
	補助金	968	968	
	その他			
合計(A+B)		1,688	1,688	0
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担 その他特財			
一般財源		1,688	1,688	0
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
管内農家の利用率	%	17	20	25			
コシヒカリ1等米比率	%	57.96	59	61			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
管内農家の利用率	利用農家の数が増えることで、品質の均等化が計れる。	%	17 目標 ()	20	25
コシヒカリ1等米比率	上記により1等米比率が上がることで、最終的に伊賀米コシヒカリの価値が上がる。	%	57.96 目標 ()	59	61

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

伊賀南部カントリーエレベーターの改修経費に係る補助金の支出で、出荷米の品質向上を図るための改造であり、価格維持のために不可欠である。近年、1等米比率については、基盤整備による圃場の変化、地球温暖化等の影響で低いが、カントリーの利用促進により品質の均等化が図れる。網目については、現在伊賀米コシヒカリの定義で1.85以上とあるが、滋賀では1.90以上を使っているところもあり見当が必要である。

評価	必要性	4	消費者の食品に対する安心・安全への要求度は高まるばかりであり、生産者側はこれに応えられなければ、産地間競争から脱落する。この種の設備投資は今後も継続し続けなければならないものとする。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		